

令和6年度 第6回羽島市地域公共交通協議会 議事録

日 時	令和7年2月26日(水) 午後2時00分から午後2時40分まで	
場 所	羽島市役所4階 第1委員会室	
出席者	会長代理 羽島市生活環境部長	高橋 宏成
	副会長 (大)東海国立大学機構岐阜大学地域科学部地域政策学科教授	應 江黔
委員	名阪近鉄バス(株)乗合バス営業部長	山田 規光久
委員	スイトトラベル(株)バス事業部部長	西川 勝則
委員	東海旅客鉄道(株)岐阜羽島駅長	野上 重和
委員	名古屋鉄道(株)地域活性化推進本部地域連携部交通サービス担当課長	高井 勇輔
		(代理出席:石博 誠)
委員	名阪近鉄バス労働組合執行委員長	加藤 浩司
委員	羽島市自治委員会理事	栗本 善彦
委員	羽島市老人クラブ連合会	村上 由紀子
委員	公募委員	植村 佳代
委員	公募委員	豊島 裕香
委員	岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	下平 真一郎
委員	岐阜県バス協会専務理事	木村 治史
委員	岐阜羽島警察署交通課長	額額 夕介
委員	岐阜県都市建築部都市公園・交通局 公共交通課	城戸脇 研一
		(代理出席:野田 なつみ)
委員	羽島市健福祉部長	三輪 弘司
委員	羽島市建設部長	藤井 義郎
事務局	生活安全課長 鈴木 巨祥	
事務局	同課長補佐 河村 健太郎	
事務局	同課係長 清水 孝明	

要 旨	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告事項 報第1号 パブリックコメントの実施結果について (事務局) 羽島市地域公共交通計画(案)に対する意見と市の考え方(資料1)について説明</p> <p>4 協議事項 議第1号 羽島市地域公共交通計画(案)について (事務局) 羽島市地域公共交通計画(案)(資料2-1)、羽島市地域公共交通計画(案)の修正箇所(資料2-2)について説明</p> <p>(副会長) パブリックコメントで寄せられた意見は、これまでの会議で議論された内容に関係しているものが多く、ある程度は既に計画に反映されていると感じた。商業施設との連携や交通結節点の利用者数についての具体的な提案も含まれているが、今回の計画案では根拠のある目標値が設定されており、堅実で実効性の高い計画になっていると感じる。 現在、地域公共交通の大きな問題としては、バスの運転手不足が挙げられる。最近では、バスとタクシーの中間的な手段として、乗合タクシーや公共ライドシェアの導入を模索している自治体もある。羽島市でも新しいスタイルとしてmobiの社会実験が行われたが、将来的にはそのような新しい方式が浸透していくということも考えられる。実証実験の結果も踏まえ、民間と連携した取り組みは適切なものであったと思う。 今回の計画案では、名阪近鉄バスや名鉄の具体的な目標値も設定されている。バスや鉄道は一定の規模の需要があり、まちづくりにも関係している。長期にわたってまちづくりや土地利用と公共交通体系の全体的な発展につなげてほしいと思う。mobiが3月末で終了することは残念だが、コミュニティバスとは違うニーズもあると思うので、実験で得られたデータも活用し、公共交通の課題を解決させてほしいと思う。</p> <p>(委員) 計画案36ページの「アダプトプログラム」はどのような取り組みか。</p> <p>(事務局) 現在、中島中学校の生徒会が主導し、地域で清掃活動の取り組みを行っており、その一環で沖バス停の清掃活動も行われている。市民協働の観点から、このような取り組みを広げていきたいと考え、新たな事業として計画に記載した。現在は、中島中学校だけの取り組みだが、今後それ以外での実施方法についても、研究を進めたいと考</p>
-----	--

えている。

(羽島市地域公共交通計画(案)について承認された)

5 その他

6 閉会

以上